

# 進捗報告書（実行団体）

事業名: 沖縄フードセーフティネット構築推進事業

資金分配団体: 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

実行団体名: セカンドハーベスト・ジャパン

実施時期: 2021年3月～2022年2月

事業対象地域: 沖縄県

事業対象者: ひとり親家庭を中心（裨益者）, 社会福祉協議会職員（事業連携者）, 食品企業職員

Version 1.2

日付: 2021年10月4日

## I. 事業概要

### 事業概要

沖縄県の沖縄市、糸満市、うるま市において食事の確保が困難となっている子ども達やご家庭が安心して食料にアクセスができるフードセーフティネット（以下FSN）の構築を推進する。セカンドハーベスト・ジャパン（以下2HJ）とフードバンクセカンドハーベスト沖縄が協働し、各ステークホルダー（行政、民間企業、社会福祉協議会、民間団体、受益者）にフードバンク活動やFSNについての説明会を行う。またフードパントリーやフードコープ、カリタスマーケット（別添資料1参照）などの模擬実践を含めた研修会を行う。また沖縄県内での余剰食品の流通を拡大するまで東京からも食品輸送を行い、それら食品が必要とする受益者に届けられる持続可能な仕組みを作ることを目的とする。

## II. 進捗報告の概要

### 総括

沖縄県における緊急事態宣言期間が長期間にわたっていることで当初予定の説明会や意見交換会等についての開催が難しく、遅延しているため実施のタイミングや方法の再検討が必要となっている。また経済状況や仕事に戻ってきていないため食料支援のニーズが高く、3月から8月末の間での延べ17,200世帯へ配布した。今後もニーズが減ることが無い状況が容易に予測できる経済環境のため、同じような規模での食品配布支援ができるよう予算の配分を再検討する必要がある。本事業の当初予定にはなかったが、沖縄県南城市立玉城中学校への食料支援（バックパックプログラム）を校長先生の協力を得て生徒約430名へお米3kg含む食品（約5kg）を提供した。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
FSNへの関心者が100名となる。フードバンク沖縄への新たな企業からの食品寄贈に関する問い合わせが前年比30%増。また沖縄県内3か所で新たに食品配布活動の始動準備が始まる。1か所あたりひと月100世帯分の食品1000～1300kgが定期的に配送される仕組みができる。	現在実施した意見交換会は5月の実施したのみでその他は感染状況の悪化により実施が見送られている。10月以降での開催に向けて企画・調整が必要。食品配布について会場協力、人員協力等で12組織が協力していただいている。また配布に協力してくれている沖縄の団体は31団体となっている。今後関わっている組織や団体さんにFSN構築に向けた説明会等を実施することを検討

活動	進捗状況	概要
意見交換会、説明会等の実施 食料配布会	遅延あり	5月に沖縄民間団体の9団体9名の方と意見交換を実施。必要な方への食料配布は会場12か所で配布し、27回開催した。提供箱数：7,824箱 地域：那覇市、糸満市、宜野湾市、恩納村、沖縄市、うるま市、浦添市、豊見城市、読谷村 沖縄の地元団体を經由しての配布では延べ80団体と連携し、9,376箱を配布。合計延べ17,200世帯へ食料支援を実施した。

## IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

### 自由記述

計画当初の目標としてFSNに対する理解者を100名、FSNを構成するフードパントリーの活動を3団体が始める準備を行うなどを想定していたが、県内におけるコロナの影響が大きく、その課題解決に向けて理解を示してくれる団体の方が想定より多いと感じる。しかし、それら団体との今後の連携方策についてはまだしっかりとコミュニケーションが取れていない状況である。またカウンターパートであるセカンドハーベストフードバンク沖縄は10月に現在の事務所から豊見城市の新事務所（約200㎡）に移転をする。これにより団体を取り扱う食品の量などの増加が可能となるが、持続性を持たせ機能を備えるための人員体制、輸送体制、ファンドレイズ等の構築をしていく必要がある。それらにより継続的に連携団体に食品を供給していくことができる組織体になると考える。沖縄県食品ロス削減推進県民会議が8月に発足されたことで県内における余剰食品の有効活用について機運が高まる期待があるためその機会も有効に取り入れる必要がある。

## V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥3,464,700	¥38,055,700	¥41,520,400	¥12,392,526	30%
	管理的経費	¥250,000	¥2,750,000	¥3,000,000	¥1,150,000	38%
合計		¥3,714,700	¥40,805,700	¥44,520,400	¥13,542,526	30%
補足説明		8月31日までで計上したものを根拠に記載。管理費の支払いタイミング上8月分は9月計上になっているため5か月分の計上となっている。事業費においても8月末までで計上できたものを根拠にしている。人件費、燃料費等翌月又は翌々月払いのものは上記数字には入っていない				

## VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>沖縄県における感染拡大と非常事態宣言の長期化により新たな経済困窮者が増えてきている。そのため直接支援の業務が増えてきている。国のワクチン接種事業のため会場の貸し出しが不可であったり、ワクチン接種のための準備や相談案件の増加などにより想定している対象者の時間が取れないなどがあったため事業で想定している説明会等が実施できない状況が続いている。今後、感染状況が落ち着いてきた時期にオンライン等での開催を検討実施していくこととしている。</p>

## VII. その他

自由記述

## VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	有	<p>①2021年5月24日「コロナ禍の店員は子どもを抱え苦しい生活 時短の居酒屋店長、食料の支援に「助かる」沖縄タイムズ <a href="https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/758683">https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/758683</a></p> <p>②2021年5月27日「屋富祖通り会 食料配布 浦添 店舗支援」琉球新報 2HJから提供された食品を休業となってる店舗の従業員に対し支援として提供</p> <p>③2021年6月2日「レッツクッキング通信2021.VOL.2」浦添市宮城が原児童センター広報誌 コロナ禍における2HJの食料支援についての記事</p>
広報制作物等	無	
報告書等	無	

## IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	